



防災カフェ ☕ ー暴風雪に備えましょうー

12月は一年のうちでも月別の降雪量が一番多くなる月で、本格的な冬の到来を実感するこれからは、特に暴風雪への注意が必要な時期となります。

暴風雪は、発達した低気圧が北海道付近を通過するときや、強い冬型の気圧配置のときに発生し、猛吹雪のため視界不良になったり、吹き溜まりが出来たりします。

暴風雪の影響としては、車の運転や歩行が困難となり身動きが取れなくなることや、暖房器具の吸排気口がふさがれて一酸化炭素中毒を起こしてしまうなどが挙げられます。

また、着雪や強風により電線が切れて停電が発生し、照明や暖房器具が使えなくなるといったおそれもあります。

テレビやラジオなどで「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」という呼びかけがあったときは、たとえ晴れていても数時間後には猛吹雪となり、屋外での行動が危険となる場合がありますので、暴風雪が予想されているときは、最新の気象情報を確認する

とともに、外出を控えるなどの対策をしてください。

また、日頃からの暴風雪への備えとして、家に懐中電灯や携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや燃料、非常食、飲料水などを準備したり、FF式暖房機等を使用している場合は、吸排気口が雪でふさがれないように注意しましょう。やむを得ず車で外出するときは防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープやブースターケーブルを用意するとともに、燃料やスマホの電池残量が十分にあることなども確認しましょう。

「暴風雪への備え」については、こちらからも確認できます。



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

雪による事故の防止 ～落氷雪、除雪等作業中の事故防止～

①早めの氷雪下ろしを

例年、屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないよ



うにしましょう。

また、氷雪は早めに下ろして、落氷雪による事故を防止しましょう。

②雪下ろし等の作業は複数で行い安全確保

例年、屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故も発生しています。

作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一のときに備え、万

全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。

③除雪機に注意

除雪機による除雪作業中に、衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。

除雪作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110